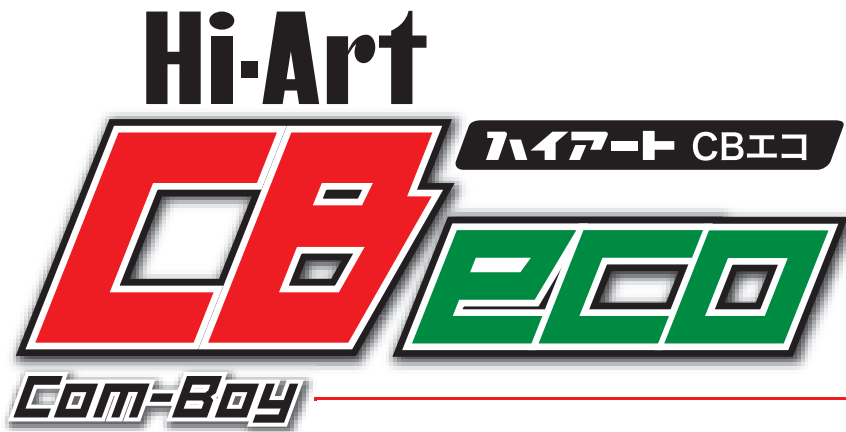




特化則対応

F★★★★

P R T R法対応・特化則対象物質非含有  
環境型2液ウレタン塗料



遮熱ホワイト



**Isamu**

## 特長

- ① 特殊遮熱顔料を使用した機能性ホワイトです。
- ② 塗装することにより、遮熱効果で直射日光を反射し、塗布物表面温度の上昇を抑えます。
- ③ 日射反射率（近赤外波長域日射 $\rho_{IR}$ %・波長範囲：780nm～2500nm）は85%以上です。  
\*日本塗料検査協会にて測定
- ④ 濃色塗膜に比べ、夏場の直射日光で表面温度を30℃程度下げることがあります。
- ⑤ 3001ホワイトに比べ、若干黄味を帯びたホワイトです。
- ⑥ 特化則対応、PRTR対応、第2石油類です。

## 用途

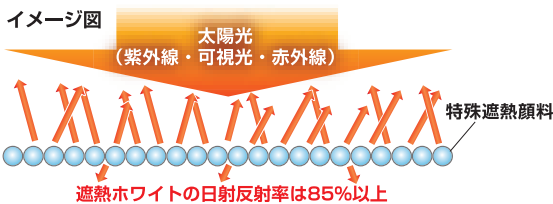
大型車両、鉄道車両、建設機械、産業機械、遊具、各種金属製品等



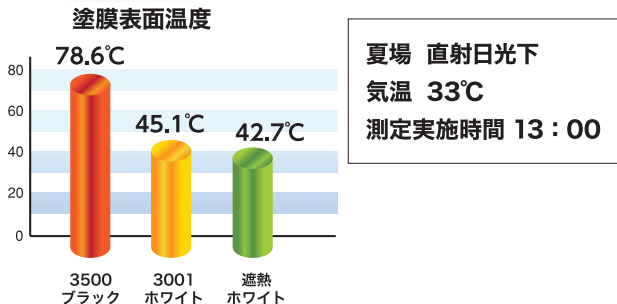
容量 / 16kg

## 遮熱メカニズム

通常の塗膜では太陽光スペクトルのうち、特に熱作用の高い近赤外線を吸収する為、温度上昇が大きいのにに対し、遮熱ホワイトは配合された特殊遮熱顔料が熱作用の高い近赤外線を効率よく反射し、温度上昇を抑制します。



## 遮熱効果



## 標準塗装工程

工程	塗料	配合比	希釈率 (%)	推奨膜厚	塗回数	塗装方法	乾燥時間 (23℃)
下地処理	カラーベースを塗装する部分をP320～400ペーパーにて空研ぎし脱脂清掃する。(旧塗膜含む)						
プラサフ塗装	ハイアートCBエコ 2液プラサフ	主 剤: 硬化剤	ハイアートCBエコシンナー	60～120μm	3～4	エアスプレー	3h
		100:15	5～50				
カラーベース塗装	ハイアートCBエコ 3015 遮熱ホワイト	主 剤: 硬化剤	ハイアートCBエコシンナー	30～40μm	2～3	エアスプレー	10h以上 ※クリアーを塗装する場合は15min以上
		100:20	20～40				
クリアー塗装 (必要時のみ)	ハイアートCBエコ HGクリアー	主 剤: 硬化剤	ハイアートCBエコシンナー	40～50μm	2～3	エアスプレー	12h以上
		100:20	5～30				

## 使用方法

**1 配合比(重量比)**

※10:1ハードナーの場合

**5:1** (主剤: ハイアートCBエコ)

**10:1** (主剤: ハイアートCBエコハードナー)

シンナー希釈 20～40% (ハードナー調合塗料に対して)

**2 可使時間**

23℃ → 4h  
30℃ → 2h

**3 乾燥時間**

23℃ → 10h  
60℃ → 25min

- ※標準塗装仕様書をご確認ください。
- 【注意事項】**
- ① 遮熱効果をより高めるために、下地にはハイアートCBエコ2液プラサフを塗装してください。
  - ② ハイアートCBエコシリッド原色で調色は可能(遮熱ホワイトに対して2%以内) ※2%以上原色を混合させると遮熱効果がなくなります。
  - ③ 遮熱顔料の特性上、沈殿しやすいので、使用前によく攪拌してください。

## 使用にあたっての注意

### ■作業中の注意点

1. 塗料・スプレーミストを皮膚や粘膜に付着させない
  - 作業着・手袋・フード付帽子などで、皮膚などに直接付着しないように保護してください。
  - 保護メガネを必ずかけてください。眼に飛沫が入ったときは、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに専門医の手当を受けてください。
2. スプレーミストを吸い込まない
  - 塗装の際、JIS T8153に適合し労働大臣の行う形式検定に合格した送気マスクを必ず着用してください。

### ■イソシアネートの毒性について

1. スプレーミストの吸入による中毒症状  
軽症: 不快感・頭痛・咳 中症: 喉頭炎と同じ様な症状  
重症: ぜんそく状の気管支クレンを伴う発作

### 2. 皮膚に触れた場合の炎症

塗料・スプレーミストが直接皮膚に触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。

### 3. 一度中毒症状になると再発しやすい

一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので注意してください。気管支炎になりやすいなど呼吸器系が敏感な人や既往症のある人、皮膚カブレの出やすい人、アレルギー質の人は、作業には従事しないでください。

### ■容器のふたを必ず閉める

1. 硬化剤・硬化剤は空気の湿気・水分と反応するので、使用時以外は必ずふたをして、湿気・水分との接触をさけてください。
2. ベース・ベースは使用時以外は必ずふたをして、溶剤の揮散を避けてください。